科　No.　　氏名

３年生と松工の三年間をふりかえろう

あなたはこれまで、中学校～高等学校から、キャリア教育に関わる様々な学習活動について、取り組んできました。
せっかく学んできたことや色々な気づきについて蓄積し、心に残ったこと、発見したことなど、学年をこえてつなげ、振り返ったり見通したりしながらポートフォリオ（成果集）としてまとめてきたのがキャリア・パスポートでした。

高等学校では特に、学習、技能、実績や表現できたことなどについて、自分が変容したこと、身につけたこと、努力・改善できたこと、夢中になっていることなどを振り返り記録してきました。
今までも、これからも、自分が通ってきた路にどのような名前を付けるか。それこそが『キャリア（轍：わだち）』です。

ものづくりの原点は「人づくり」にあります。
良いものをつくり、良い仕事をするには、善いヒトが求められます。
また、人は他者、社会とのかかわりのなかで、様々な役割を担いながら生きています。『ヒト・モノ・コト』の関係・つながりを感じ、「できること（できそうなこと）」「意義を感じること」「したいこと」について考え、自分の役割を果たしながら経験を重ね、自らの役割の価値や関係をさらに見いだしていきたいものです。

【ワーク１】　まえの自分といまの自分をくらべてみよう。

※それぞれの自分の時期について、どんな「じぶん」（イメージ、タイプ…）だったか。行動・考え方・性格・学習面など、自分を客観的にみて、どんな成長ができたか、何が変わったか…などを書いてみよう。
そのときに、言葉選びや文章の出来で悩まず、思いつくままに、どんどん書きましょう。
ただし、できるだけ具体的に書き、そのときの感情（思いなど）も書き添えましょう。
色々ある場合には、「例えば、こんな場面で～ができなかった（できるようになった）」と代表的なものを挙げてみてもよいでしょう。

以前（入学前～1 年生のころ）の自分

いまの自分

【ワーク２】　どんな力が身についたか

※三年間で、とくに工業の科目、実習、課題研究や、諸活動について、何ができるようになったか、何の知識、技術、技能が身についたか（または身につくように時間をかけて努力してきたこと、今も続けている…）、ものづくりについてどんな貴重な経験を積んだか…などを具体的に書きます。得意・不得意は問いません。あなたが本気で努力してきたことを振り返り書き残してください。

【ワーク３】　これからどんな力を身につけたいか、どんな自分になりたいか

今回、記入したシートは、担任の先生に提出し、みてもらいましょう。その後、ものキャリファイルに綴じ、これまでのキャリアとあわせて持ち帰ってください。

今後も、工業高校で、松工で学んだあなたの足跡（努力、経験、思考したこと）を主体的にいかし、これからの自己実現や成長につなげていってください。

教員記入欄